

目 次

序

第 1 章 超函数

- §1. 代数的準備 1
- §2. 超函数を正則函数の境界値としてとらえること 20

第 2 章 Microfunction

- §1. Microfunction の定義 35
- §2. 相対コホモロジー群の消滅定理
—— \mathbf{R}^n の \mathcal{O}_{C_n} に関する純 n 余次元性, その他 52
- §3. 基本的な種々の完全系列 63
- §4. いくつかの例 86

第 3 章 基本的な演算

- §1. 積, 制限, 代入 105
- §2. 積分 121
- §3. ファインマン (Feynman) 積分の解析性 138
- §4. 超局所作用素 (micro-local operator) と佐藤の基本定理 143
- §5. 波動方程式 154
- §6. 正規双曲型作用素 (regularly hyperbolic operator) の基本解 169
- §7. Microfunction の層の脆弱性 178
- §8. 補足 188

第 4 章 擬微分方程式論

- §1. 擬微分作用素の定義とその基本的性質 201
- §2. 擬微分作用素の量子化(された)接触変換 224

§ 3. 擬微分方程式系の構造	238
文 献	259
索 引	263
記号表	266

